

2022年3月7日

株式会社三菱UFJ銀行

## 「核融合エネルギー」技術のスタートアップ企業 京都フュージョニアリング株式会社に対してJBICとの協調融資を成約

株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 はんざわ じゅんいち 半沢 淳一、以下 当行）は、今般、京都フュージョニアリング株式会社（代表取締役社長 ながおたか 長尾 昂、以下 KF 社）に対して株式会社国際協力銀行（代表取締役総裁 まえだ ただし 前田 匡史、以下 JBIC）と連携し、協調融資<sup>1</sup>（以下 本ローン）を実施いたしました。本ローンは KF 社初の海外進出となる英国法人 KYOTO FUSIONEERING UK LTD.（以下 KFUK 社）の事業資金に活用されます。

核融合エネルギーは、「二酸化炭素などの温室効果ガスを排出しない」「海水から事実上無尽蔵に燃料確保が可能」「高レベル放射性廃棄物を生成しない」という特徴から、クリーンな新エネルギーとして、脱炭素社会実現への貢献が期待されています。英国で開催された COP26 におけるカーボンニュートラルに向けた具体策の一つとして世界中がその実現に向けた研究開発を加速しており、日本政府が策定を進めるクリーンエネルギー戦略の一つにも含まれています。

KF 社は 2019 年に京都大学で培われた研究開発技術をベースに設立されたスタートアップ企業であり、核融合発電の社会実装により、世界のエネルギー問題の解決に貢献することを企業理念に据えています。また、KF 社は英国政府機関が主導する先進的な核融合の実証プログラムに参画しており、2021 年 10 月には現地ステークホルダーとの関係強化及び市場調査等のコンサルティング業務等を行う拠点として英国法人 KFUK 社を設立しています。

今回締結したスキームは、当行が JBIC との協調融資で、中堅・中小企業の海外事業展開を支援するものです。当行は本スキームを通じて政府系金融機関である JBIC と連携し、新産業の育成、脱炭素社会の実現、海外事業展開の後押しに取り組んでいます。

当行は、MUFG Way のパーパス（存在意義）である「世界が進むチカラになる。」に基づき、全てのステークホルダーが前に進むチカラになることを企業活動の指針としています。当行は引き続き、持続可能な社会の実現に向けて取り組んでまいります。

### 【本ローンの概要】

組成金額 650 千英ポンド（JBIC（KFUK 社に直接融資）：455 千英ポンド、  
当行（KF 社を通じて融資）：195 千英ポンド相当の JPY）  
資金使途 KFUK の事業資金  
貸付人 当行、JBIC

<sup>1</sup> JBIC は KFUK 社との貸付契約を締結。

以上